

[様式-4]

平常-11

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	長崎支部	氏名	石橋 浩
活 動 地 区	長崎河川国道事務所(堤防決壊時の緊急対策シミュレーション訓練)		
活 動 年 月 日	令和 5 年 8 月 22 日(火)		
活 動 内 容	<p>本明川 堤防決壊時の緊急対策シミュレーション</p> <p>1. 日 時 : 令和 5 年 8 月 22 日(火)</p> <p>2. 場 所 : 長崎河川国道事務所 会議室</p> <p>3. 訓練の内容 : 台風期を迎えるに備え、万一に備え、破堤時の緊急対策を検討。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①支川半造川危険個所(左岸2k000)で堤防決壊との想定。 ②3班で緊急対策を検討。 ③各班で検討成果を発表し、質疑応答を実施。 ④最後にエキスパート会等から講評。 <p>4. 参加者 事務所長、技術副所長、事業対策官 他河川系職員(22名) 防災エキスパート会長崎支部(石橋・神崎・南部) 計 28名参加</p> <p>5. 訓練の成果</p> <p>迅速な復旧を図るために効率的な作業手順、作業分担の把握の重要性、現地状況に応じた仮設計画及び施工計画の重要性の再認識及び備蓄資器材の把握と配置の再検討の必要性を認識した。</p>		
活動写真等	<p>各班の検討状況</p>  <p>各班の検討結果発表状</p>  <p>講評</p> 		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	大分地区(3事務所)	氏名	首藤美誠・添田良一
活動地区	1. 大分河川国道事務所	2. 佐伯河川国道事務所	3. 山国川河川事務所
活動年月日	1. 令和5年6月8日(木)	2. 令和5年10月26日(木)	3. 令和5年6月21日(水)
活動内容	<p>1.【堤防決壊時の緊急対策シミュレーション(洪水時)の実施】</p> <p>◎場 所:大分河川国道事務所 3F防災情報センター</p> <p>◎出席者 ●大分河川国道事務所:河崎事務所長,杉田技術副所長,藤原工務課長,村田河川管理課長,高瀬流域治水課長,仁田原大分出張所長 山本大野川出張所長等 ●防災EXP会:樋口俊二,岡部俊宏,深町弘幸,添田良一,矢野寛,首藤美誠</p>		
活動内容	<p>2.【地震時の堤防決壊緊急対策シミュレーション</p> <p>場所:佐伯河川国道事務所 会議室及び防災室</p> <p>出席者:事務所河川技術系職員(事務所長・河川副所長) 災害時協力業者、防災エキスパート会</p> <p>1班: 現場条件を踏まえた対策工法の検討</p> <p>2班: 津波警報発令の条件を付与したタイムラインの作成</p>		
活動内容	<p>3.【山国川堤防決壊時の緊急対策シミュレーションの実施】</p> <p>◎場 所:山国川河川事務所 1F会議室</p> <p>●山国川河川事務所:中元事務所長,西平技術副所長 他職員 全25名 ●防災EXP会:深町弘幸,松本強,篠原昌秀,矢野寛,首藤美誠 全5名</p> <p>1階会議室にて、事務所長挨拶、演習スケジュールの説明後、2班に分かれて、右岸6/400付近のパラペット決壊を想定し、応急復旧工法の検討等討議を行った。</p>		
活動写真	<p>1. 大分 検討状況 & 発表状況</p>  		
	<p>2. 佐伯 検討結果発表状況</p>  		
	<p>3. 山国川 所長挨拶 & エキスパート助言状況</p>  		

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	宮崎支部	氏 名	奥野 博史
活 動 地 区	宮崎河川国道事務所		
活 動 年 月 日	I. 令和5年6月12日 II. 令和5年9月21日		
活 動 内 容	<p>I. 大淀川洪水時の堤防決壊シミュレーション</p> <p>場所： 宮崎河川国道事務所 防災室</p> <p>参加者(エキスパート会)：</p> <p>徳永、田上、岩崎、坂本、久保、末吉、奥野 以上7名</p> <p>参加内容 ①大淀川水系における、洪水時の堤防決壊を想定した応急復旧訓練に参加し、助言・意見交換を行った。</p> <p>②被災状況や現場条件に応じた仮設工、荒縫め切り工、応急堤防断面、資材調達方法、運搬路選定、施工ヤード造成等の検討において支部班及び災害対策班に参加した。</p> <p>II. 大淀川地震時の堤防決壊シミュレーション</p> <p>場所： 宮崎河川国道事務所 防災室</p> <p>参加者(エキスパート会)：</p> <p>徳永、田上、岩崎、奥野 以上4名</p> <p>参加内容 ①大淀川水系八重川における、地震による堤防決壊を想定した応急復旧訓練に参加し、助言・意見交換を行った。</p> <p>②被災状況や現場条件に応じた仮設工、備蓄資材の確認方法、防災(機労材)の活用、運搬路選定、施工ヤード確保等の検討において支部班及び災害対策班に参加した。</p>		
活動写真等	<p>洪水時シミュレーション実施状況</p>   <p>地震時シミュレーション実施状況</p>  		

[様式一4]

平常一14

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所 属 地 区	大隅河川国道事務所地区	氏 名	・永吉・松本・中元 ・鶴本
活 動 地 区	大隅河川国道事務所 3F 大会議室		
活 動 年 月 日	令和 5 年 10 月 16 日 (月) 【13:30 ~ 16:00】		
活 動 内 容	<p>【令和5年度 地震時 堤防決壊の緊急対策シミュレーションの実施】</p> <p>1. 目的</p> <p>○近年の大規模な自然災害発生を踏まえ、肝属川での地震時の堤防決壊緊急対策シミュレーションを合同で実施し、連携を深め、大規模災害に備える。</p> <p>関係機関: 大隅河川国道事務所河川担当職員・災害協力業者・ 防災エキスパート(4名)</p> <p>2. 実施内容</p> <p>・肝属川右岸8K000地点及び左岸14K800地点で地震発生により堤防破壊(堤防天端の沈降、堤防天端縦断亀裂、堤防法面のはらみだし等)が発生したとの想定。</p> <p>実施内容: ・応急復旧工法選定・現地搬入通行ルート・備蓄財、重機、人員の確保・指揮系統の確認・復旧までの期間(24時間作業)・その他必要事項の抽出</p> <p>○意見交換及び助言内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・堤防応急復旧工法での仮締め切り堤の必要性については、堤防基礎地盤の変状確認が必要。 ・堤防復旧資材(築堤土砂・岩碎)及び掘削盛土施工機械選定には協力業者との日頃の情報交換が重要。 ・現地状況は出張所長が把握していることから、災害復旧の中心的役割を担うこととなる。 ・資材運搬路についても緊急通行可能道路を十二分に把握し搬入ルートを選定すること。 ・近年、水防法及び災害対策基本法が更新され災害時の借地活用の基準が異なるので確認をすること。 ・災害時の情報を参加者で共有し、災害発生から対策実施状況の把握が常時できる体制組織を整えておく。 		
活 動 写 真 等	 		

[様式一4]

平常-15

防災エキスパート(平常時レポーター)活動報告書

所属地区	北九州国道支部	氏名	支部長 東 久雄
活動地区	道路防災訓練・道路法面等の点検活動(筑豊・行橋維持管内)		
活動年月日	I : 令和5年6月2日(金)9:30~11:30 II : 6月15日(木)13:00~17:00		
活動内容	<p>I : 北九州国道事務所道路防災訓練における被災箇所復旧への助言</p> <ol style="list-style-type: none"> 事務所参加者 事務所長、副所長、各課、出張所はTeamsで参加 エキスパート参加者 井手勝美、松元勝美、大成和明 参加内容 国道3号(八幡維持出張所)、国道201号(筑豊維持出張所)における法面崩落箇所の応急復旧工法への助言、及び、防災時における留意点(全般)の助言 <p>II : 梅雨期に向けた道路法面等の点検活動(筑豊維持・行橋維持)</p> <ol style="list-style-type: none"> 事務所参加者 濱田技術副所長、秋田筑豊維持所長、石橋行橋維持所長 若手技術職員9人 エキスパート参加者 東 久雄、井手勝美、上村一明、清時義雄、末岡 彰 点検箇所 ①筑豊維持管内:切土法面及び路面クラック ②行橋維持管内:盛土法枠法面の空洞化、洗い出し 点検結果 ①バス停設置のため法面を急こう配でカットする。 変状が進むようなら抑え土嚢等で応急措置必要。 土質を確認し、法面は擁壁・アンカー等考慮、 路面も脆弱土なら路床入れ替え等必要。 ②側溝上流側の流量に見合う容量の側溝断面とスムーズな流入 流出の構造とすべき。 側溝の清掃、雑木の伐採除去等の維持管理も重要。 		
活動写真等	<p>I. 道路防災訓練実施状況</p>  <p>II. 道路法面点検</p>  <p>全体写真・行橋現場</p> <p>意見交換会</p>		